

## 日刊工業新聞社 第57回(2014年)十大新製品賞 本賞受賞

JTEKT Receives 57th (2014) Best 10 New Products Award from Nikkan Kogyo Shimbun

2015年1月22日、当社のGS300H(旧製品名e500H-GS)ギヤスカイビングセンタが日刊工業新聞社主催の「第57回十大新製品賞 本賞」を受賞した。同賞は1958年に設立され、毎年日本の企業が開発し実用化した新製品の中から、独創的な発明や世界最高水準の性能、日本の産業技術向上への貢献などに該当する。特に優れた製品に贈られる。本年は60社65件の応募からの入選で、当社は14回目の受賞となった。(豊田工機時代も含む)

今回の受賞においては、1960年代に原理提唱された歯車創成加工法のスカイビング加工を当社がいち早く実用化し、汎用のマシニングセンタにその機能を搭載することで自動車用複合ギヤなどの生産性が大幅に向上し、さらにギヤ製品の小型軽量化が可能となり、省エネルギーにも貢献できることが評価された。

本機の商品化に際し「工具」「CNC装置」「高速回転テーブル」を独自で開発した。この技術に、2006年からスカイビング工法を自動車の駆動部品量産に採用し、実績を積んできたJTEKT TORSEN ベルギー工場の知見を融合し、2013年より販売を開始した。自動車部品事業と工作機械・メカトロ事業を併せもつ当社だから実現できた、まさにNo.1 & Only Oneの商品である。

本機的主要な特長は、

- ①歯切り加工に加えて旋削、面取り、穴あけなどの複数工程を1台に集約し、ワンチャックで加工できるため、従来の複数の機械で、工作物の着脱を繰り返す加工方法に比べ、大幅な設備コスト削減と、工作物の着脱で生じる精度の誤差のない高精度加工ができる。
- ②特に内歯車の加工において、従来工法(シェーパ)に対して切削速度が速く、2~5倍の能率で加工でき、生産性が向上する。
- ③独自開発のCNC装置に歯車製品の諸元、工具諸元、切削条件を入力するだけでプログラミングできる機能を搭載し、誰でも簡単にスカイビング加工ができる。

\* 本開発内容の詳細は、JTEKT ENGINEERING JOURNAL No. 1012(2014年10月号)85ページに掲載



GS300H ギヤスカイビングセンタ



複合ギヤのスカイビング加工



左から、杉浦主任、今西グループ長、安形社長、柴田主担当、大谷主任